

令和7年度 学校評価 大路小学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「人」「自然」「もの」を活かした教育活動を大切にする学校 ・夢や希望を持ち、何事にも前向きにチャレンジする児童の育成 ・誰一人取り残さない持続可能で多様性のある学校
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「人」「自然」「もの」を活かした「たんば大路ふるさと学」の推進 ・個別最適な学びと協働的な学びの充実（自由進度学習） ・一人一人の教育的ニーズに応じた教育支援の充実

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	保護者・地域との連携	地域と連携したふるさと学の推進	A	地域の「人」「自然」「もの」を活かした大路ならではの教育「たんば大路ふるさと学」を、全学年において計画的に進めている。学校評価アンケートでは、「地域のひととの学習を楽しみにしている」と回答した児童が94%である。今後も、地域の協力を得ながら、ふるさと大路の魅力ある教育活動を継続して取り組んでいく。
教育課程	教科・学習指導	個別最適な学びと協働的な学びの充実	B	進んで学び、共に伸びる大路っ子の育成を目指して、児童が主体的に学ぶ取り組みとして、自由進度学習の研究授業や校内研修を進めている。学校評価アンケートでは、「授業中しっかり聞き自分の考えを伝えている」と回答した児童が71%、保護者が75%である。今後も個に応じた学習方法や進度の選択ができる機会を設け、一人一人の可能性を伸ばす授業づくりに努める。
課題教育	人権教育	人権感覚を高め、一人一人が輝く学校づくり	A	自分・友だち・学校・ふるさとが好きな大路っ子を目指して、全校で「自分発見」「ひみつの友だち」「大路っ子発見」の取り組みを進めている。「自分によいところがある」と回答した児童は78%、保護者は98%である。さらに、自己肯定感を高めるため、引き続き効果的な言葉かけや肯定的な評価をしながら、児童が自分の良さを実感できるよう支援をしていく。人権参観日を実施し、人権について保護者とともに学ぶ機会を設ける。6年生は、人権校外学習を継続し、さらに人権意識を高めていく。

3 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・地域とともに学ぶ「たんば大路ふるさと学」が、全校で長年続いていることが素晴らしい。小学校の間に様々な体験をさせてもらっており、アンケート結果からも、子ども達が楽しんで学んでいることがわかる。大路の伝統として今後も継続してほしい。 ・「ごんろくの詩集」では、子どもの素直な気持ちが表現されている。毎朝の送り出しなど、大人が時間と心に余裕をもって接することが大事だと実感している。 ・人権教育において、全校的に継続して取り組まれている。少数ながら否定的に捉えている児童に対して、自己肯定感が上がる声かけをしていただくことで、自信に繋がり原動力となる。
--

4 次年度の改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「人」「自然」「もの」を活かした「たんば大路ふるさと学」の継続的な推進 ・子どもが主語になる主体的・探究的な学びの充実 ・人権尊重を基盤とし、心身ともに健康で、つながりを大切にする子の育成 <p style="text-align: center;">令和8年3月18日 学校名 丹波市立大路小学校 校長名 廣瀬 ゆかり</p>
--